

舟の語 舟の語



日本作詩家協会年刊詩謡集

1992年版

第一編 舟の語
Shigenori

きよの語 あいたの語

社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

1992年版

序 文

会長 石 本 美由起

今年もまた、年刊詩謡集を出すことが出来た。

嬉しかったり、安心をしたり、やるべきことを遣り遂げてこそ、新しい年を迎える気分になれると言うものだ。

年刊詩謡集は、年ごとにその参加者も多くなり、こゝ数年来、三百人以上のメンバーが、決まって顔を揃えてくれる。

まさに、壮観である。

現役バリバリの侍も多く、これだけの仲間が集う作品集は、他に例を見ないのではなからうか……。

私は、誰がどんな作品を発表してくれるのか、毎年それを期待しながら、秘そかに胸を躍らせている。

詩謡集には、なんの制約もなく、自由に自分の好きなものが書けるから、楽しい。

昔は、サトウハチロー会長や藤田まさと先生にも毎年参加して頂き、強い刺激や影響を受けたものだが、そんな思い出のあることは、この詩謡集の貴重な足跡と言えよう。

私たちは迷うことなく、先輩から受け継いだ詩心を養い、常に明日への歌を求めて前進することが必要であろう。

平成四年十二月

目次

〈氏名 五十音順〉

序	文	石本 美由起	一
恋の日暮道	あ	いたかし	一八
恋 夜 川	愛	川 あい	一九
ラッキーゴルフ	葵	昭 人	二〇
海	青	木 三 郎	二二
恋	青	木 創	二三
夫 婦	秋	ひ ろ し	二三
もえて鎌倉	秋	篠 さ と	二四
ひぐらし川	秋	田 泰 治	二五
あいの夫婦みち	東	龍	二六
三陸みたと宿	飛	鳥 井 芳 朗	二七
汐騒 の 宿	ア	ベ・イ チ ロ	二八
忍路 恋 唄	綾	瀬 恵	二九
あんちくしょうとこんちくしょう	鮎	川 公 正	三〇
新宿 御 苑	荒	川 利 夫	三三
赤い 風 車	荒	木 とよひさ	三三
熟年組だよ お前さん	有	美 子	三三
男の 手 形	淡	路 しのぶ	三四

嘆きのサキソフォン	安藤潤	三五
愛をいつも胸に	飯田悠介	三六
野武士	飯塚義美	三七
ついでに行きたい東京へ	生田恵子	三八
夫婦松	池浦利彦	三九
青い蛇の目で	池田充男	四〇
春雷	いけやかつとし	四一
しのび逢い	池邊意一	四二
夫婦だるま	生駒かつゆき	四三
風の子守唄	石井鐘三郎	四四
赤道祭	石井文生	四五
船場育ち	石川泰久	四六
口癖	石本美由起	四七
北の星	磯一人	四八
恋蛭	いそのあきを	四九
おかかのような	いちはじめ	五〇
悲しみのあとから	市川武志	五一
蒼い深海魚	伊藤公一	五二
あした葉の恋唄	伊藤悟	五三
面影の街	稲葉爽秋	五四
涙の出会い	井上融	五五
涙もでない	伊野上のぼる	五六
酒鏡	今井修	五七
望郷縄のれん	今里修	五八
ラスト・パラダイス	井村幸男	五九

思慕	伊予圭相	六〇
恋のリハーサル	岩瀬ひろし	六一
三文芝居の幕切れは	岩田小筆	六二
パダ(海)	岩田道之輔	六三
今どき女の時代	岩本京子	六四
陽炎	宇佐美華	六五
めでためでのたの親心	碓氷夕焼	六六
心発あなた行き	宇都宮美代	六七
海が呼んでる	浦田常治	六八
母恋い伊勢佐木町	えいたかこ	六九
涙でおめでとう	海老沢孝一	七〇
湯の町川	遠藤澄夫	七一
思うこと	大崎二三子	七二
あなた酒	大澤陽央	七三
北泊り	大橋哲郎	七四
畏友	大前裕子	七五
やす子酔どれ	大森富士子	七六
北海あばれ船	大屋詩起	七七
白夜のセレナーデ	岡田富美子	七八
浮世絵夢景色	小川比富美	七九
マニラ↑大阪	沖永良一	八〇
演歌なんて大ッ嫌い	おだみさを	八一
俺のばかやろう	小野都久	八二
涙宿	小野津加佐	八三
あじさいの恋	おもてやちよ	八四

父	よ	小山	良	八五
鎌倉・薪能	甲斐	新	八六	
きれた絆	柿沼	宏	八七	
回り舞台	かず	翼	八八	
まつり訪ねて	かとうえつろう		八九	
ほろ酔いで	加藤市平		九〇	
鳥羽の海	加藤完二		九一	
裏町しぐれ	加藤テル		九二	
貴方と生きたい私です	神作光志		九三	
つぼみ	紙中礼子		九四	
ほないこか	河島涉		九五	
父ちゃん、好きやねん	川端はじめ		九六	
川原毛情話	北田幸子		九七	
津軽冬情話	木立雄幸		九八	
トワイライト神戸	北野彩		九九	
花のれん	北原いずみ		一〇〇	
おいでなさい	北村直之		一〇一	
恋絡繰	吉祥寺敬生		一〇二	
刀匠	木村賢司		一〇三	
花街川	木村壮吉		一〇四	
我が道をゆく	木村幹枝		一〇五	
運鈍根	國井ただし		一〇六	
現せ身挽歌	國枝星志		一〇七	
その名は愛する店でした	倉島雅三		一〇八	
罪舟	黒川良人		一〇九	

石廊崎	黒田すゝむ	二〇
ほろ／＼鳥	小出アキ	二一
親娘	合格	二二
別れの季節	こうのあゆこ	二三
カモメ	古賀一弘	二四
合鍵	こさか優	二五
隣人	越野みのる	二六
ケイ子のいない日曜日	小島香澄	二七
兄貴	小島高志	二八
隠れ泣き	小島哲	二九
長崎のれん日記	ごとうしんぞう	三〇
離婚	後藤孝吉	三一
京しぐれ	小西みちよし	三二
陶魂	こばやし克至	三三
阿武隈川旅唄	小林金次郎	三四
迷い船	小林たけし	三五
失恋標識	小林尚美	三六
あのひと	小原啓	三七
親父のふところ	近藤しげる	三八
雪あざみ	斉藤清吉	三九
宿命花	斉藤たくいち	四〇
雪	坂本順一	四一
北の番屋	嵯川温子	四二
さわやか鶴見川音頭	桜本しげる	四三
響	佐々木哲夫	四四

百 合 花	佐々木 安伸	三五
恋の町仙台青葉城	佐 田 英 介	三六
夜のかげろう	佐 藤 邦 夫	三七
素晴らしき学生	さとう すすむ	三八
お前は意気地なし	佐 藤 進	三九
湯煙り時雨	佐 東 たどる	四〇
あかんべー	佐藤としかず	四一
銀座外堀九丁目	佐 藤 英 明	四二
りんご前線終着駅	佐 藤 秀千代	四三
想い出訪ねびと	里 村 龍 一	四四
しぐれ沢	佐 野 昌 一	四五
男の漁港	佐 野 文 湖	四六
郷 愁	猿 丸 笑 子	四七
屋 台 酒	沢 ひとし	四八
北 ホ テ ル	椎 名 英 威 子	四九
むくげの花の咲く港	志 賀 大 介	五〇
夫婦瓢箪	柴 田 恒 男	五一
別れた人	柴 田 よしかず	五二
口紅はあなたが落してよ	芝 山 和 子	五三
人生旅の道	志 摩 小 五 郎	五四
上高地旅情	寫 馨 子	五五
男の人生	志 摩 よし子	五六
炎 上	下 地 亜 記 子	五七
あじさい未練	下 野 登 美 子	五八
晩 酌	白 河 時 夫	五九

満蒙開拓青少年義勇軍	新保治平	一六〇
まもりも慕情	菅野政義	一六一
恋 未 練	菅原良平	一六二
北国旅情	鈴木昭一	一六三
夕暁け空	鈴木信也	一六四
男は顔に物語	鈴木孝	一六五
曆 坂	鈴木信子	一六六
二人の絆	鈴木みつぐ	一六七
あなた任せ	鈴木れい子	一六八
命 炎	須田茂樹	一六九
吊 橋	関口義明	一七〇
相馬、松川浦大橋音頭	相馬詩彦	一七一
しぐれ恋	曾我幸義	一七二
愛の帆船	たかたかし	一七三
天文館慕情	高城俊男	一七四
古都の舞	高田れい子	一七五
小 春 駒	高塚和美	一七六
能登半島	高野礼子	一七七
陽酒の宴	高橋テツ子	一七八
男 の 躰	高橋たけお	一七九
恋さえ あれば	高橋ゆきを	一八〇
いつにない望郷	高畑和之	一八一
関東男節	高安弘	一八二
決して美人じゃないけれど	滝川たけお	一八三
海は荒海	多岐川まさし	一八四

あした天気になあれ	たきの えいじ	一八五
あゝ普賢岳	竹内 きよと	一八六
恋おぼろ	立川 加根	一八七
夢 別れ	田中 衆兵	一八八
恋 懺悔	たなか ゆきを	一八九
春 の 雪	たにはら 伸	一九〇
去年の夏はもう来ない	田畑 しげき	一九一
庄内慕情	玉川 良一	一九二
男の行く道	たまた 進	一九三
小倉純情	田村 和男	一九四
恋おんな	田村 忠雄	一九五
風 雪	千葉 幸雄	一九六
情 念	司 明生	一九七
冬みなと	塚谷 清一	一九八
無縁さかずき	対馬 慎一郎	一九九
情 念	津島 裕次	二〇〇
遥かなる道	土川 多恵	二〇一
悲 焰	土田 有紀	二〇二
移 り 香	土屋 正敬	二〇三
秋 刀 魚	つるぎ まさる	二〇四
ほつれ髪	照沼 寛	二〇五
人妻海峡	戸田 富久子	二〇六
かばいあい	外松 たつお	二〇七
出羽三山	豊岡 敏	二〇八
細腕のれん	鳥羽 貞子	二〇九

車 力 村	中島通利	二三〇
夜の赤坂恋の街	中西寛	三二一
面影山慕情	中野惣太郎	三二二
渡良瀬橋はおんな橋	長峰篤夫	三二三
まわし飲み	中村美智子	三二四
夢を背負って	中村よしあき	三二五
武蔵野の森	中村よしかず	三二六
梓 川	中山邦雄	三二七
甲州恋宿幸せの宿	中山真一	三二八
さらば愛の日々	中山大三郎	三二九
ダイアル・ナンバー・涙	並木ひでお	三三〇
風雲児・長政	成瀬左千夫	三三一
女の午后	仁井谷俊也	三三二
北の旅愁	贄田清	三三三
留守番電話	西晶	三三四
箱根・蛇骨川	沼川淳	三三五
恋 恋 恋	根岸利仁	三三六
妻きどり	根本昌幸	三三七
恋の火祭り	野村耕三	三三八
おんな宿	はしおあきら	三三九
越 後 路	長谷川洋	三四〇
一條戻り橋	畑よしかず	三四一
ジーンパン渡り鳥	はち惣平	三四二
ようこそ愛	八田満	三四三
根室海峡	羽澤文子	三四四

彼岸花	英玲	二二五
爪あ	浜晃一	二三六
ヨコハマ港の黒い霧	浜岡三郎	二三七
早春の譜	林徹	二三八
ふる里 夢つづり	原あきら	二三九
帰って来ました	原こうじ	二四〇
離さない	原純子	二四一
たかまつ物語	原文彦	二四二
北の漁師	原田なおみち	二四三
恋は苦手	晴菜千秋	二四四
啄木が好き	柘たけし	二四五
立待海峡	樋口智生	二四六
鵲の橋	平井健	二四七
海の友	平川せいぎ	二四八
ムックル	広野アイ子	二四九
渚の郷	ふくだ恒	二五〇
夫婦ごよみ	藤たかし	二五一
冬の海	藤八郎	二五二
漁師酒	藤まさる	二五三
男人生そやないか	藤岡和子	二五四
何か忘れちゃいませんか	藤田けんじ	二五五
冬の蝶	藤間哲郎	二五六
雪の竹人形	二木葉子	二五七
神農街道	舟根久夫	二五八
寝顔	古野哲也	二五九

危ない年頃女の子	古江八恵子	二六〇
未練ごころ	北条 繭	二六一
せめてひと駅送らせて	ぼくはじめ	二六二
下 弦 月	堀尾 恭子	二六三
恋 慕 情	堀 五郎	二六四
狸が主役	はたる 翔	二六五
花 散 里	星野 哲郎	二六六
四島慕情	星川成一	二六七
母さんの函館	星合節子	二六八
芸道一代男	本城 さとる	二六九
三つ瀬村	本間 繁義	二七〇
土 俵 華	牧野 おさみ	二七一
裏 事 情	正木のりゆき	二七二
母の夢歌	松井 由利夫	二七三
悲 願	松 生 静	二七四
ワ ル	松尾 和彦	二七五
滾 滾 と	松崎 暎子	二七六
カリィ・由布島	松田 郷人	二七七
花ミズキ	松平 史紀	二七八
年下の男	松永 夏女	二七九
望 み 花	松本 摂子	二八〇
残 月	真弓田 幸一	二八一
恋 へん 路	みお こうすけ	二八二
阿呆やな	三上 博司	二八三
ニャンとかしてよ	美 貴 裕子	二八四

母 子 章	幹 政 人	二八五
さすらい夜曲	水 木 れいじ	二八六
ふたりの旭川	水 口 勝 明	二八七
ふるさとっていいなあ	水 野 甚 太 郎	二八八
夢かけそば	水 野 喬	二八九
帰郷たより	南 かおる	二九〇
そやけど	南 早 苗	二九一
絵島しぐれ	み ね 隆	二九二
恋の縄のれん	峰 なおき	二九三
国際線ロビーの娘	峰 よしを	二九四
窯ぐれ春秋	峰 崎 林 二 郎	二九五
母 恋 扇	宮 内 た け し	二九六
出世待ち	三 宅 立 美	二九七
ひとり長崎想い旅	み や け 知 絵	二九八
惚れちゃったのよ源さんに	宮 崎 て る み	二九九
氷の慕情	宮 地 洋 子	三〇〇
人生走馬灯	宮 原 哲 夫	三〇一
夫婦の旅路	宮 本 正 万	三〇二
絆	村 岡 一 也	三〇三
男と女の恋歌	村 上 志 賀 子	三〇四
母 あ や め	村 上 文 恵	三〇五
幼な心がなつかしい	紫 野 ゆ き	三〇六
平成三四郎	村 田 竜 明	三〇七
マーメイドのふるさと	室 井 隆	三〇八
溪 谷	名 月 秋 太 郎	三〇九

悔	恨	杜	としを	三〇
イワナが泳ぐ音が聞こえるみたいに				
アナタが見えて	森岡	司	三一	
別	離	森田	えい美	三二
男	炎	八木	吾郎	三三
これも人生		矢坂	秀司	三四
君	こぬか雨	八坂	みやび	三五
恋名残	夢心中	安田	福美	三六
想い出連絡船		やま	一央	三七
遠浅の渚		山上	路夫	三八
下町慕情		山岸	まさし	三九
北浜の夕暮れ		山北	由希夫	三〇
未練舟		山口	純	三一
折り鶴日記		山崎	有道	三二
愛を道づれに		山田	博康	三三
京都でひとり		やまだ	りゆう	三四
母さんの隠し味		山路	功	三五
捜索願		山中	雅美	三六
相合人生夢之下絵		山本	恵三子	三七
備後路流れ旅		山元	ひろし	三八
静かすぎるよ		湯浅	操子	三九
深谷ねぎ音頭		友里	裕介	三〇
恋劇場		吉岡	治	三一
寿		吉田	旺	三二
望郷夢螢		吉田	純治	三三

うらぶれ女……………	吉田よし子……………	三四
男の漁火……………	吉本圭代……………	三五
泣き虫なんだから……………	若林圭子……………	三三六
平成のドン・キホーテ……………	若林澄人……………	三三七
命……………	若松かつ子……………	三三八
地球を守ろう……………	渡辺和於……………	三三九
逃 避 行……………	渡辺よし枝……………	三四〇
海を越えて……………	渡辺螢雪……………	三四一
愛の絶 唱……………	渡辺ひさし……………	三四二

題 字 石 本 美 由 起
表紙画 斎 藤 茂